

■ 開設年度		■ 開講部局	
2017		共通教育	
■ 科目名			
アメーバ経営			
■ 英語科目名			
Amoeba Management			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
前期・後期	毎週	講義	2
■ (2 8 年度以降入学生) 中分類		■ (2 8 年度以降入学生) 小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野 (選択科目)	
■ (2 5 年度以降入学生) 中分類		■ (2 5 年度以降入学生) 小分類	
b. 知力：人文・社会科学		11. 経済・経営を学ぶ	
■ (2 4 年度以前入学生) 大区分		■ (2 4 年度以前入学生) 中区分	
教養科目		分野2	
■ 受講学部学科			
全学部			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
劉美玲		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099-285-3767		未定	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
随時 (ただし , 事前にメールでアポイントメントを取ってください)			
■ 共同担当教員			
■ アクティブ・ラーニング			
■ アクティブ・ラーニング (「 その他 」 の内容)			
■ アクティブ・ラーニング (授業回数)			
■ 理念 重要視する教育目標			
1 . 自己理解 2) 必要な知識・技能の獲得に向けて行動できる			
■ 理念 教育目標			
2 . 情報収集・精査・統合 3) 個別の知識を統合して課題の解決策を提案できる			
■ 理念 教育目標			
■ 理念 教育目標			
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
授業目的：この講義の目的はアメーバ経営の基本デザインと導入状況を理解することにある。			
授業内容：管理会計は，アメーバ経営の不可欠の要素である。この講義は，主に管理会計の立場から，アメーバ経営を解説する。一方，広義のアメーバ経営は，管理会計の要素，組織的要素，稲盛フィロソフィーを含み，三者が相互補完的に機能を発揮する。アメーバ経営を包括的に理解してもらうために，必要に応じて組織論（組織構造や組織文化）の内容も含む。また，アメーバ経営は，京セラグループだけではなく，多くの日本企業や海外企業にも導入されている。これらの企業へのアメーバ経営の導入状況を理解してもらうために，導入の概要や事例を講義内容に含む。			
授業方法：パワーポイントを使って講義する。			
■ 学習目標			
1. 一般的な管理会計の仕組みを理解する。			
2. アメーバ経営における管理会計の仕組みを理解する。			
3. アメーバ経営における管理会計，組織構造，組織文化の相互補完関係を理解する。			
4. アメーバ経営は京セラ以外の日本企業・海外企業での導入状況を理解する。			
■ 授業計画・試験の有無 (1 6 回「初修語は3 1 回」に分け、回数、授業内容、自学自習等)			

1. はじめに - アメーバ経営の概要
2. 責任センター
3. アメーバ経営における責任センター
4. 振替価格
5. アメーバ経営における振替価格
6. PDCA (1) : 計画
7. PDCA (2) : 予算管理
8. アメーバ経営におけるPDCA
9. 組織文化
10. アメーバ経営における稲盛フィロソフィ
11. パッケージとしてのアメーバ経営
12. アメーバ経営の導入 (1) : 概要
13. アメーバ経営の導入 (2) : 事例
14. アメーバ経営の国際化
15. まとめ
16. 期末試験は行わない (指定期日までにレポートを提出)

■ 授業外学習 (予習・復習)

(予習) 授業資料を事前に読んできてください (学習に関わる標準時間は約30分)。

■ 受講要件	■ 成績の評価基準
アメーバ経営に興味を持っていること。	小課題 (40%) , 期末レポート課題 (60%) とし , 評価する
■ 教科書	■ 参考書
授業資料を事前に配布する。	谷武幸『エッセンシャル管理会計』(第3版) 中央経済社 三矢裕『アメーバ経営論 — ミニ・プロフィットセンターのメカニズムと導入 — 』東洋経済新報社. 三矢裕・加護野忠男・谷武幸『アメーバ経営が会社を変える : やる気を引き出す小集団部門別採算制度』ダイヤモンド社

■ 地域志向科目の区分 (平成 2 7 年度入学生用)

■ その他

特になし